

あけまして おめでどうばんざいします

町長 徳 永 哲 雄



新年、明けましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、平成31
年の新春を健やかに迎えのこと
と、心からお慶び申し上げます。
旧年中は町政運営全般にわたり、
深いご理解と絶大なご協力を賜
り、厚くお礼を申し上げます。
さて、昨年の国内外の出来事を振
り返りますと、2月9日に開幕した
平昌冬季五輪では、日本が13個のメ
ダルを獲得し、1998年の長野大
会の10個を超え、冬季では最多とな
りました。北海道からは65人の選手
を送り、「金」2個、「銀」1個、「銅」3
個の計6個を獲得する大躍進となり
ましたが、特に、スピードスケート女
子団体バシユートには、厚岸町出身
の「佐藤綾乃」選手が出場し、海外選
手との体格差をもとせず、高度
な技術で金メダルを勝ち取ったレ
スは、目を見張るものがありました。
また、カーリング女子代表の「LS北
見」においては、その実力に加え、「そ
だねー」といった北海道なまりのや
りとりも話題となり、新語・流行語大
賞に選ばれるなど、世界へ向けた北
海道のパワーにも大きく貢献されたこ
とは、記憶に残る明るい出来事であ
りました。

国際情勢では、北朝鮮が大陸間弾
道ミサイルを最後に打ち上げてか
ら1年以上が経過し、この間、各国の
連携の下、中朝、南北、米朝の首脳会
談や対話が行われ、今後の北朝鮮問
題の平穏維持と非核化が注目され
るところであり、また、北方領土問題
では、安倍首相がロシアを訪問し、
1956年の「日ソ共同宣言」を基礎
に交渉を加速する方向で合意した
ことから、今後の進展に期待をする
ところでもあります。
一方国内では、1月23日に草津白
根山が3千年ぶりに噴火し、その後
も、6月には大阪北部地震、7月には
西日本を中心に記録的な大雨とな
った平成30年7月豪雨や埼玉県熊
谷市では、気温が41・1度まで上昇
し、国内最高気温を5年ぶりに更新
する「災害級の暑さ」となるなど、大
きな災害や気象変動に悩まされる
1年でもありました。本町におきま
しても、3月9日から10日にかけて
て、季節外れの大雨や積雪などの影
響により、朝日地区を中心に浸水な
どの住宅被害が発生しました。また、
9月6日には、北海道胆振東部地震
の発生により、北海道全域で電力供
給がストップする「ブラックアウト」
が引き起こされ、2日間の停電とな
るなど、住民生活や経済活動に大き
な影響が及んだところでもあります。
近年は、さまざまな災害が頻繁
に発生するようになりましたので、
あらゆる防災対策を想定しながら、
地域の活性化とまちづくりに取り
組む必要があります。
新年度における町の施策といた

年頭にあたって

町議会 議長 八幡 豊行



町民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。
平成31年の新春を迎えるにあたり、町
議会を代表し謹んで年頭のご挨拶を申
上げます。
皆さまにおかれましては、ご家族おそ
ろいで新年をお迎えになられたことを、
心より喜び申し上げます。また、日頃
から町議会に対する格別のご理解とご
協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、9
月6日に北海道胆振東部地震が発生し、
41人の方が亡くなられ各地で土砂崩れ
や家屋の倒壊、液化化現象により大きな
被害がありました。この地震により道内
全域で大規模な停電が発生し、交通・産
業・観光など道内の経済と道民の生活に
甚大なる影響を与えたところです。

本町においても2日間にわたり停電
が発生し、多くの町民の生活に支障を
きたしました。特に酪農業では発電機の巡
回により搾乳の対応をしたものの、乳業
工場の操業停止により約400トンの牛
乳を廃棄するとともに、乳房炎により多
くの乳牛へ影響を与えました。また、観
光ではキャンセルが相次ぎ、現在も風評
被害により入込客が減り観光業に多大
な影響を与えております。

また、一昨年前にJRR北海道が発表し
た維持困難路線についても引き続き関
係機関を中心に議論が続いていること

ろですが、JRR釧網本線については沿線
自治体と関係機関で構成する協議会に
おいて、JRR釧網本線を活用した交通バ
スの提供などにより釧網本線の維持・活
性を図っております。
本町では執行機関においてこれらの
対策や各種政策を進めておりますが、議
会としましても執行機関と連携を密に
し、さまざまな課題の解決に努力を重ね
てまいりたいと存じますので、町民皆さ
まの一層のご支援、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。
結びになりましたが、今年で平成も終
わり5月1日からは新元号が始まりま
す。新たな年が皆さまにとって、さらな
る飛躍と充実の年でありませう、ご清
祥とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご
挨拶といたします。

謹賀新年

弟子屈町議会

- | | |
|-----|-------|
| 議長 | 八幡 豊行 |
| 副議長 | 近江屋 茂 |
| 議員 | 山田 博 |
| 議員 | 小川 義雄 |
| 議員 | 岩崎 義人 |
| 議員 | 鈴木 康弘 |
| 議員 | 高砂 弥生 |
| 議員 | 高橋 正秀 |
| 議員 | 三上 務 |
| 議員 | 武山 秀樹 |
| 議員 | 徳永 則行 |

実り多い一年を願って

町教育委員会教育長 小林 俊夫



新年あけましておめでとう
ございます。平成31年の輝かし
い新春を迎え、心よりお慶び申
上げます。

町民の皆さまにおかれまし
ては、本町の学校および地域の
教育力向上や教育環境の整備
推進のために、深いご理解と多
大なるご協力を賜り、心から感
謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ります
と、学校教育におきましては、
「釧路管内学校教育研究大会弟
子屈大会」「釧路へき地複式教
育研究大会」が本町で開催さ
れ、創意あふれる授業実践など
を公開し、各町村から多くの教
職員が皆さまのご参加を頂き
盛大に開催されました。また、
川湯小学校と川湯中学校にお
きまして「コミュニティ・スク
ール」を導入し、地域コミュニ
ティ運動会を初めて実施する
など保護者や地域との連携を
一層深める取組が推進されて
おります。

各学校では地域の良さを生
かした多様な魅力的な「ふるさ
と学習」の取り組みが継続され
ております。児童生徒の少年団
や部活動においても、卓球や柔

しましては、まず、基幹産業の観光で
は、観光地の再構築を図るため、国・
道をはじめ観光関係団体と連携し、
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト
を進め、硫黄山のエコツアー、屈斜
路湖周辺のトレイルコースの整備
や川湯温泉の廃屋撤去、企業誘致な
ど、自然を活用したエコツーリズム
と温泉街の再生に取り組みでまい
ります。また、本町は地熱利用の先進
地として注目を集めており、発電へ
の利用などにより、地域経済の活性
化と雇用の拡大に努めてまいります。
本年8月には、大気環境保全に対
する意識の高揚を図ることを目的
とし、環境省が推進する「第31回星空
の街・あおぞらの街全国大会」を弟子
屈町において開催する予定であり
ますが、この機会に、本町のすばらし
い自然環境や観光地としての魅力
についても、積極的にPRを図って
まいりたいと考えております。
次に、農業におきましては、農
業・農村の持続的な発展を目指すた
め、農業生産基盤の整備推進、担い手
や後継者対策の充実を図りながら、
経営の安定と農観連携による特産
品開発を進めるとともに、平成31年
度税制改正において創設予定の「森
林環境譲与税」の活用により、民有林
における森林整備事業や森林整備
の促進に関する支援などを計画的
に実施してまいります。
生活福祉では、快適な住環境形成
のため、道路、橋、公園などの長寿命
化や公営住宅の建替えを引き続き
進めてまいります。また、平成31年4
月からは、幼保一体化による教育と
保育環境の充実を図る目的から、「幼
保連携型認定こども園まじゅう」が
民営により開設されるほか、生徒の

安全対策などを考慮し、現在の放課
後児童クラブを集約したうえで、弟
子屈小学校と川湯小学校内に開設
するなど、子育て環境の充実を図っ
てまいります。更に、助成事業では、
脳ドック費用や下水道事業計画区
域を除く地域を対象とした合併浄
化槽設置費用の一部を新規に補助
する予定であります。
また、まちづくりに関わる広報活
動や災害時の緊急情報の提供を充実
するほか、本町の魅力発信のため、S
NSを活用した仕組み構築とシステ
ィプロモーションの強化についても
計画をしております。
本年は、新天皇の即位に伴い改元
がなされる大きな節目の年であり
ます。振り返りますと、平成29年12月
の初当選から、平成の半分以上の町
政を担わせていただきましたが、た
くさんの町民の皆さまのご理解と
ご支援のもと、地域と行政が協力し
てさまざまなまちづくりに取り組
んでまいりました。地方におきまし
ては、人口減少や高齢化が進む中で、
本町においても社会保障費の増加
や、町債償還、老朽化した公共施設の
維持更新費用などにより、財政が硬
直している状況は否めません。心新
たにメリハリのある施策と身の丈
にあった財政運営を心がけ、第5次
総合計画に掲げたまちづくりと魅
力ある将来像の達成に向け取り組
んでまいりますので、一層のご支援
とご協力を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。
結びに、今年一年が本町にとつ
てすばらしい年になるよう、また町民
皆さまのご健康とご多幸をご祈念
申し上げます、新年のごあいさつとい
たします。

道、陸上、テニス、水泳で全国・
全道大会出場を果たすなど、文
化・スポーツの両面で素晴らしい
活躍を見せてくれました。弟
子屈高校生のリーグシップ
による校種を超えた連携の深
まりも一層感じております。
一方、社会教育活動におきま
しては、町内の人材活用による
各種事業の充実を図り、新たな
試みによる講座や教室を企画
し、多くの町民の皆さまから好
評を頂きました。また、北海道の
名付け親松浦武四郎を縁とした
三重県松阪市との小学生交流で
は、念願の相互訪問交流を初め
て実現できました。子どもたち
がお互いの地域を学び合い、自
らが育つ郷土の魅力にも気付く
ことで、町の将来を担う人材の
育成につながるものと大きな期
待を寄せるものであります。
本年は、さらに元氣溢れる魅
力的な教育の推進に誠心誠意努
力していく所存でございます。
今後とも「学校、家庭、地域社
会」が連携し、ふるさとを創る人
を育む」という本町の教育目標
の具現化に向け、関係機関・団
体との連携を一層強化しなが
ら、児童生徒の「生きる力」の育
成、町民の皆さまの生きがいと
潤いある学びの環境づくり
に励んでまいりますので、引き続
きご理解とご協力をお願い申
上げます。
結びに、本年が皆さまにとり
まして、希望に満ちた実り多い
年となりますよう心からお祈
り申し上げます。